

整理番号	25001
評価対象年度	令和4年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年11月12日
事業担当課	被爆継承課

《基本情報》

事務事業名	保存整備活動費(旧城山国民学校カラスザンショウ造形物製造委託)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大
基本施策	B1 被爆の実相を継承します	
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている
	多くの人々が	被爆の実相の継承を進めている。
個別施策	B1-2 平和教育・学習の充実を図ります	
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている
	市民や若い世代が	被爆の実相や平和の大切さを学んでいる。

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	城山小学校敷地内の被爆建造物等Aランクに位置付ける城山国民学校カラスザンショウは、平成28年度に枯死が確認された後も、現地保存を行ってきたが、屋外での保存が限界となったため、令和3年度に、被爆校舎内へ移設し、屋内展示を行なっている。しかしながら、このカラスザンショウは、ムクノキに支えられているように見える姿が、人と人が支え合う姿とも重なることから、平和のシンボルとして平和学習のみならず、地域住民などからも親しまれ、大切にされてきた。また、同校舎の原爆遺跡としての価値付けを高め維持していくためにも、カラスザンショウが示す被爆の痕跡や位置関係など、被爆の実相をより分かりやすく後世へ伝えるために現地になくはならないものであり、城山小学校原爆殉難者慰霊会前会長の言葉でもある「目から消え去るものは、心からも消え去る」という強い思いが受け継がれていることから、現地からの撤去後も、往來の姿を想像しながら平和教育等に活用したいとして、その代替となるレプリカ等の設置の要望を受けている。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	カラスザンショウの元生育地にレプリカ等の造形物を製造・設置し、引き続き、平和学習等に活用できる環境を整える。
課題(どういことをする必要があるのであるのか)	平和教育を受ける小学生や卒業生及び地域住民にとって、これからも継続して大切な想いのある場所となるよう、また修学旅行生等が現地見学後に、屋内展示の現物樹木に興味を持ってもらえるような展示環境(造形物の完成度及び見やすく分かりやすい説明板の設置)を整備する必要がある。
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	<input type="radio"/> 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠である。

《事業の概要》

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)	城山小学校敷地内土手のカラスザンショウ元生育地にレプリカ等の造形物を製造・設置し、引き続き、平和学習等に活用できるよう展示する。 【事業期間】令和4年度 【総事業費】6,600千円 【事業費内訳】令和4年度 樹木造形物製造:4,700千円 現場施工費一式:1,007千円 テストサンプル : 134千円 諸経費 : 759千円 計:6,600千円 【設置場所】令和4年度:城山小学校敷地内 【補助率】2/3 原爆死没者慰霊等事業国庫補助金 【基金】クスノキ基金					
業務量の増減	233時間の増(打合せ・協議3.25h×10日、現場立会い4.5h×10日、現場調整・施工確認7.75h×5日、仕様・材料等調査、仕様書作成、契約書作成等事務7.75h×15日)					
市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)	<input checked="" type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input type="checkbox"/> 協働					
	旧城山国民学校カラスザンショウは、平和のシンボルとして、児童の平和学習に活用されるとともに、地域住民などからも親しまれ、大切にされてきた樹木であり、元生育地へ代替となるレプリカ等の造形物の製造・設置を行い、継続した平和教育と被爆の実相への理解を深める。					
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)					
予算額	金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	6,600	4,400		2,200	
	総額					
	財源名称	原爆死没者慰霊等事業国庫補助金(補助率2/3) クスノキ基金				
成果(活動)指標	指標(単位)	製造・設置事業の進捗率				
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値	100%				
	成果指標及び目標値の説明	本事業はカラスザンショウの元生育地へ代替となるレプリカ等の造形物を製造・設置する事業であり、作業の進捗率を成果指標とした。				

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
城山小学校敷地内土手のカラスザンショウ元生育地にレプリカ等の造形物を製造・設置し、平和学習等に活用できるよう展示するものである。 現地にレプリカがあることで、カラスザンショウが示す被爆の痕跡や位置関係など、被爆の実相をよりわかりやすく後世に伝えることができるため、事業の実施は適当である。	